文書質問通告一覧表(8月)

令和5年8月7日

<p>1. 学校給食について</p>	<p>学校給食法に基づき実施されている学校給食ですが、子どもたちの栄養バランスや健全な食習慣、また農業が基幹産業である栗山町としての食育や近年問題視されている牛乳の消費等様々な面で学校給食は現代社会において非常に重要な役割を担っている。</p> <p>成長過程にある子どもたちにとっても重要な学校給食について、以下の2点伺う。</p> <p>① 現在、栗山高校及び北海道介護福祉学校の生徒の確保に町を挙げて取り組んでいる。そんな中、保護者の生活環境や就労環境も時代に合わせて変わっており、朝お弁当を作ることが負担になっている保護者もいると聞いている。校内に売店もないためコンビニなどに頼りがちで成長期の子どもの偏った食生活が懸念される。</p> <p>そこで保護者の負担軽減やバランスのいい食生活、また栗山町としての食農教育を考えたときに学校給食法では対象となっていない栗山高校及び北海道介護福祉学校にも給食を導入するお考えはないか。</p> <p>② 小中学校に通学している子どもの中には、保護者の帰宅時間が遅く、放課後保護者が帰宅するまで何も食べられずお腹をすかせている子どもたちがいる。成長期の子どもの規則正しい食生活はとても大切だと考える。保護者の帰宅時間が遅い子どもたちが集える場所に衛生面も考慮した中で給食を預け、子ども食堂のような形の取り組みを検討できないか。</p>	<p>8番 斉藤隆浩</p>
<p>2. 就学援助制度事務処理の遅延に対する対応について</p>	<p>家庭の事情等により就学に必要な経費の負担が困難な家庭に対し、必要な支援を行う就学援助制度がある。この制度は、世帯の所得額により認定が決定されるものだが、4月に配布された案内の中に定められた期日までに就学援助費補助申請書が提出できなかった場合、「就学援助の対象になりません」という強い表現での文章も見受けられ、日程に対する縛りが強い印象のある制度と感じた。また、同じ書面の中には認定の可否は6月中旬に保護者に郵送と記載があるが、実際に保護者</p>	

に届いた書類は6月末日の日付で、7月に入ってから届いている。そこで、以下の3点について伺う。

- ① 教育委員会自らが提示した期日を過ぎ、またやむを得ない事情ならば事前に通知すべきものを何も通知せず申請者に大きな不安と金銭的負担を与えた。困っているから申請しているのにそうした人に不安を与えた要因について教育長のお考えは。
- ② 今後こういうことが起きないための具体的な対策は。
- ③ 今回の件も含め町民へ不安や負担をかけることは行政として大きな問題だと思う。しかしヒューマンエラー等もあるため全てを防ぐのは不可能だと考えるが、起きてしまった後の対処の甘さにより町民の不満が増長する事案もみられる。ミスが起きた時、町民に理解納得していただく為の具体的な対策マニュアルを作成すべきと考えるが町長のお考えは。

8 番
齊 藤 隆 浩